

写真で見るちば真裕活動記録2023



5月9日 道議会に初登庁



6月3日 東京・代々木でのベトナムフェスティバル視察



6月14日 栗山町・鶴卵養鶏場視察



6月14日 北広島市・エスコンフィールド視察



7月27日 北恵庭駐屯地視察



7月28日 後志地域(共和町・岩内町・泊村)視察



8月8日 白糠町視察



8月9日 弟子屈町視察



8月25日 食と観光調査特別委員会道内調査



8月29日 東京・ベトナム大使館表敬訪問



9月6日 東京・ベトナムレセプション出席



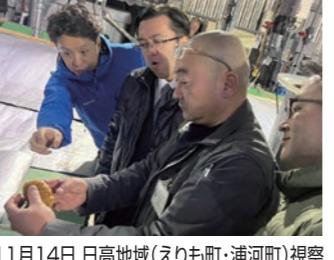
9月17日 全国豊かな海づくり大会(厚岸・釧路)出席



10月10日 台湾・双十節祝賀式典出席



10月23日 静岡県・東京都視察



11月14日 日高地域(えりも町・浦河町)視察



11月16日 ベトナム・北海道フェスティバル出席



11月16日 ベトナム・クアンニン省幹部との会談



11月17日 ベトナムの子供に中古車いすを贈呈



12月15日 旭川デザインセンター視察



12月15日 道立北の森づくり専門学院視察

団体からの要望を政策に反映

昨年10月、業界団体の要望を予算に反映させるための「団体政策懇談会」で、経済、一次産業、医療、建築、教育など41団体の代表者と意見交換しました。団体側からは物価高騰対策の強化を求める声が相次ぎ、実現に向けて全力で取り組むことを確認。その後、鈴木直道知事らに申し入れを行い、要望内容が令和5年度補正予算や令和6年度予算に多数反映されました。



住んでよし！旅してよし！の北海道に。

北海道議会議員 札幌市中央区 まさひろ ちば真裕 道政だより 第1号



ちば真裕のプロフィール

昭和58年3月10日、札幌市生まれ。幌西小学校、伏見中学校、札幌南高校、北海道大学法学部卒業、同法科大学院修了。平成23年より国土交通省北海道運輸局に勤務(交通・観光行政に従事)。令和5年4月、北海道議会議員初当選。道議会総務常任委員、同食と観光調査特別委員、道議会自民党・道民会議政策審議委員。



ごあいさつ

皆さん、こんにちは。日頃より、私の活動に対し、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年4月、皆さんからのお力添えをいただき、北海道議会議員として仕事をさせていただくようになってから、あっという間に1年が経ちました。

私は、この1年、道議会において、本会議場での一般質問や各種委員会質問などこれまでに14回質問に立ち、道議会自民党会派で政策を担当する政策審議委員として、道政全般の諸課題について道庁各部と政策議論を重ねてきました。

また、道内外各地や海外を訪問し、さまざまな課題に向き合う現場をこの眼で見て、それぞれの現場の方々と意見交換をしながら、見聞を広めてまいりました。今回の道政だよりは、そうした私の活動の一端を広く皆さんにお伝えするものです。

これからも、「住んでよし！旅してよし！の北海道」実現のため、誠心誠意取り組んでいく決意です。

今後とも皆さんのご理解とお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

北海道議会議員 千葉 真裕

Pick Up! 台湾・ベトナム訪問

(R5年10月、11月)

台湾では、現地デパートを視察し、北海道産のお米や牛乳、ホタテなど農水産物が高価格帯で販売されていることを目の当たりにし、海外では、私たちが当たり前と思っている「安心・安全で、美味しい」ものに高い価値を見出していることを実感しました。

ベトナムでは、「北海道フェスティバルinハロン」に参加するとともに、整備された中古車いすを現地のお子さんに贈呈しましたが、歩道と車道の段差など、社会の成熟度とバリアフリーの関係を考えさせられました。



〒064-0916 札幌市中央区南16条西14丁目2-14
ウェルビル201
TEL 011-562-2132 FAX 011-563-5181
公式ウェブサイト <https://www.chiba-masahiro.jp>
フェイスブック <https://www.facebook.com/chiba.masahiro.hokkaido>



一般質問

障がい者スポーツについて

(R5年9月22日)

【質問】国が令和4年、高橋はるみ文部科学大臣政務官(当時)を座長とする「障害者スポーツ振興方策に関する検討チーム」を設けてまとめた「高橋プラン」では、「都道府県等に対して障害者スポーツセンターの整備を促す」とされた。札幌市では整備に着手しているが、道として同センターが果たすべき機能をどのように認識しているのか。

環境生活部長 道では、障がい者スポーツの普及のためスポーツの実施拠点や関係者の活動拠点、用具の保管場所、情報拠点などの機能が必要と考えている。国はセンターのあるべき機能についてスポーツ審議会等で検討しており、検討状況を注視してまいり。

〈その他の質問項目〉人手不足対策／地域交通(ラストワンマイル・モビリティ)／本道におけるスポーツ振興／孤独・孤立対策／子ども施策／教育(金融・投資教育、ESD:持続可能な開発のための教育)



北海道産水産物について

(R6年3月4日)

【質問】中国政府によるALPS処理水海洋放出を理由とした日本産水産物の輸入停止で大きな影響を受けているホタテについて、事態の長期化を見据え、道は今後、ホタテの国内流通・消費の継続的な維持・拡大に向けてどのように取り組んでいくのか。

鈴木知事 道産水産物の応援消費への協力を企業・団体、全国の消費者に広く呼びかけキャンペーン強化に取り組む。道漁連の販売促進支援、販路開拓や加工体制強化に向けた政策パッケージの一層の活用を促進する。

〈その他の質問項目〉国際航空路線、海外との交流／職業訓練／災害時における障がい者の避難等／EBPM(エビデンスに基づく政策立案)／政策評価

食と観光調査特別委員会

北海道観光のくにづくり行動計画について

(R5年6月21日、7月13日、8月2日)

「北海道観光のくにづくり行動計画」にかかる数値目標案について質問。観光事業者のやる気や希望となる目標設定の重要性を指摘するとともに、コロナ禍を経て観光のあり方が大きな転換点を迎えていたとの意識をしっかりとつことを促しました。

また、北海道観光に携わる多くの方々の認識を共通なものとするため、「高付加価値化」の概念やプロモーション戦略について、外部有識者の力を借りながら整理し、次期目標に適切に反映するよう強く指摘しました。



観光業における人材確保について

(R5年11月8日)

人手不足に悩む観光関連事業者の切実な声を踏まえ、人材確保に向けた取り組みについて議論しました。道に対し、「観光サービス提供者の現状を常に把握し、広い視野と柔軟な発想で人手不足対策に当たることを強く求めました。

重要課題について 積極議論を展開！

観光・防災・子育て教育・一次産業：

私は、ちば真裕はこの1年で、本会議や所属する委員会において計14回、鈴木知事をはじめ道理事者と議論をしてまいりました。行政マンの経験を活かし、交通・物流、観光、防災、子ども・子育て政策、教育、一次産業など幅広い分野にわたる重要課題に取り組み、「住んでよし！旅してよし！」の北海道実現のため、誠心誠意力を尽くします。



総務常任委員会

日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震について

(R5年6月21日)

日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の人的被害の想定について質問。土地勘のない国内外の旅行者が災害時に必要な情報が得られず、適切な行動がとれない可能性があることを指摘し、「住民以外で滞在している方々の『被害の見える化』を通じ、道民の理解や市町村の防災対策に活用してもらうことが重要」と訴えました。



知事公邸等の現状及び基本的考え方について

(R5年11月7日)

知事公館・近代美術館エリアの総合的な活用構想について道が報告した基本的考え方を受けて、今後の進め方などについて質問。「同エリアは、まさに北海道の顔となる重要なエリア。今後もしっかりと対応していただくことをお願いする」と強く指摘しました。

北海道地域防災計画修正案について

(R6年1月10日)

道が報告した「北海道地域防災計画修正案」について、厳冬期に発生した能登半島地震における情報収集など今後の取り組みを質問しました。「道民の生命、財産を守るために、危機感を持って取り組む」よう強く促しました。

防災対策について

(R6年3月18日)

「避難所運営の課題」「避難所運営に関する道の役割」「応援職員への支援」について、道の取り組み状況をただし、「能登半島地震における災害対応について情報収集や検証を行い、知見や教訓を活かしていくことが大変重要」と指摘しました。



予算特別委員会

第2回定例道議会では第1分科会、第4回定例道議会では第2分科会に所属し、コロナ対策の検証や子ども施策、物価高騰対策、教育、農業など、幅広い分野の課題について道の取り組み強化を促しました。

新型コロナウイルス感染症対策／子ども施策(こどもファスト・トラック、赤ちゃんポスト、送迎バスの安全確保)／アイヌ施策／動物愛護管理センター／自転車利用者の安全確保／価格高騰等経済対策／花き／ホッカイドウ競馬／農業の担い手・労働力の確保／小中一貫教育／高等学校長の公募／学校における働き方改革

質疑内容の詳細はコチラからお読みいただけます▶

note https://note.com/chiba_masahiro/

